

## 前回定例会（平成27年9月2日）以降の主な動き

平成27年10月7日  
資源エネルギー庁  
柏崎刈羽地域担当官事務所

### 1. 原子力・エネルギー政策関連

#### (1) 原子力関係閣僚会議（第3回）【10月6日開催】

平成25年10月に、責任あるエネルギー政策の構築を図るため、特に、原子力政策に関する重要事項に関し、関係行政機関の緊密な連携の下、これを総合的に検討することを目的として設置。

第3回は、原子力政策に関する当面の課題と方向性などについて報告。

#### (2) 総合資源エネルギー調査会基本政策分科会 再生可能エネルギー導入促進関連制度改革小委員会（第1回、第2回）【9月11日、9月25日開催】

再生可能エネルギーを持続可能な形で長期安定的なエネルギー源として導入拡大させるため、固定価格買取制度を含めた制度改革の検討を行う。

第1回では、再生可能エネルギーの導入促進に係る制度の現状と課題について、第2回では、再生可能エネルギーの導入促進に係る制度手続きの検討等について議論。

### 2. 高レベル放射性廃棄物関連

#### (1) 最終処分関係閣僚会議（第4回）【10月6日開催】

平成25年12月に、高レベル放射性廃棄物の最終処分の問題について、将来世代に負担を先送りせず、関係行政機関の緊密な連携の下、これを総合的に検討することを目的として設置。

第4回は、政府と事業者による協議会の設置、事業者に対する「使用済燃料対策推進計画」の策定の要請、地域における使用済燃料対策の強化（交付金制度の見直し）などの使用済燃料対策に関するアクションプランを決定。

#### (2) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会 放射性廃棄物ワーキンググループ 第22回【9月29日開催】

昨年9月の最終処分関係閣僚会議で合意された、「科学的に適性が高いと考えられる最終処分候補地の具体的要件・基準等について専門家の更なる検討を進める」を受け、本WGにおいて検討を行う。

第22回では、2.（3）地層処分技術WGの検討の成果を踏まえた科学的有望地に関する検討について議論。

(3) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会原子力小委員会  
地層処分技術ワーキンググループ 第15回【9月17日開催】

2.(2) 放射性廃棄物ワーキンググループで検討している、「科学的に適性が高いと考えられる最終処分候補地の具体的要件・基準等」について、技術的観点から専門家による検討を行う。

第15回では、科学的有望地の要件・基準について議論。

3. 福島第一原子力発電所の廃炉及び汚染水処理対策

(1) 廃炉・汚染水対策現地調整会議(第25回)【9月28日開催】

政府原子力災害対策本部下に設置した現地会議。現地の政府機関、東京電力等関係者の情報共有、連携を強化し対策の具体的な進め方について検討を行う。

第25回会議では、1号機建屋カバー解体工事の進捗状況等について議論。

(2) 廃炉汚染水対策福島評議会(第9回)【9月29日開催】

廃炉・汚染水対策について地元関係者(自治体首長、商議所、農協、漁協他)へのさらなる情報提供・コミュニケーションの強化を図る。

第9回では、国及び東京電力の取組状況、廃炉・汚染水対策解説動画(英語版)概要、パンフレット「福島第一原子力発電所の現状と廃炉に向けた取り組み」改訂等について議論。

4. その他

(1) 「高レベル放射性廃棄物の最終処分 国民対話月間」の実施【9月11日公表】

本年10月の1ヶ月間を「高レベル放射性廃棄物の最終処分 国民対話月間」とし、全国9都市でシンポジウムを開催する等、全国各地の国民の皆様を対象に、地層処分に関する対話活動を積極的に展開することを発表。

(2) 原子力防災会議(第5回)【10月6日開催】

本会議は、原子力基本法第3条の3及び第3条の4の規定に基づき、原子力事故が発生した場合に備えた政府の総合的な取組を確保するための施策の実施の推進等の事務をつかさどるもの。

第5回は、伊方地域の緊急時対応の確認結果、平成27年度原子力総合防災訓練の実施について報告。

(以上)

平成 27 年 9 月 11 日  
資源エネルギー庁

## 来月 10 月は、「高レベル放射性廃棄物の最終処分 国民対話月間」 ～地層処分に関する対話活動を全国各地で実施します～

高レベル放射性廃棄物の最終処分について、将来世代に負担を先送りしないよう、国が前面に立って取り組むこととする新たな基本方針を、本年 5 月に閣議決定しました。その後、最終処分の必要性や今後の進め方等について、全国各地で情報提供や意見交換を実施してまいりました。

今般、来月 10 月の 1 ヶ月間を「高レベル放射性廃棄物の最終処分 国民対話月間」とし、全国 9 都市でシンポジウムを開催する等、全国各地の国民の皆様を対象に、地層処分に関する対話活動を積極的に展開します。

### 1. 全国シンポジウムの開催

5～6 月に実施した全国シンポジウムの参加者からは、地層処分の安全性に最も高い関心が寄せられました。また、処分地選定の進め方にも質問や意見が集まりました。これらを踏まえ、処分地に求められる特性(適性)や段階的な選定の進め方を中心としたシンポジウムを開催し、資源エネルギー庁及び原子力発電環境整備機構(NUMO)等からの説明と質疑応答を行います。

開催地	開催日時	会場
東京	10 月 4 日(日)13:00～15:00	ザ・グランドホール(品川)
金沢	10 月 8 日(木)18:30～20:30	金沢都ホテル
札幌	10 月 9 日(金)13:00～15:00	ロイトン札幌
新潟	10 月 10 日(土)13:00～15:00	朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター
高松	10 月 15 日(木)18:30～20:30	かがわ国際会議場
大阪	10 月 16 日(金)13:00～15:00	梅田スカイビル
名古屋	10 月 24 日(土)13:00～15:00	名古屋商工会議所
熊本	10 月 28 日(水)18:30～20:30	ホテル日航熊本
岡山	10 月 29 日(木)13:00～15:00	岡山国際交流センター

※ 参加申込の方法は、こちら(<http://www.chisou-sympo.jp>)をご確認下さい。

### 2. 少人数ワークショップの開催

全国の各地域に根差した活動を行っているNPO法人等(地域協力団体)と連携し、地層処分に関する様々なテーマについてグループワークなどを行う、少人数規

模での一日ワークショップを行います。

また、10月1日から、ワークショップ開催にご協力頂ける地域団体等の追加募集を行います。ワークショップの開催案内、地域団体等の追加募集については、下記URLからご覧下さい。

【ワークショップ開催案内】 <http://www2.dengen.or.jp/kouhou/html/index.html>

【地域団体等の追加募集】 <http://www2.dengen.or.jp/kouhou/index.html>

### 3. 意見交換会等を希望する団体募集

希望する団体や学校等に対し、NUMOの職員等が訪問し、最終処分に関する情報提供や意見交換、出前授業等を行います。お申し込み等の詳細は下記URLからご覧下さい。

【意見交換希望団体等の募集】 [http://www.numo.or.jp/pr/skill\\_session/index.html](http://www.numo.or.jp/pr/skill_session/index.html)

### 4. 国民からの提案募集

10月末までの間、国民の皆様から以下の2テーマについて、ご提案を募集します。頂いたご提案は、関係する審議会で紹介するなどの形で活用させていただきます。

(テーマ1) 地層処分について、より多くの若年層・次世代層が関心を持ち、議論に参加するには、どのような取組が重要か。

(テーマ2) 将来、地層処分事業に協力して頂ける地域の持続的な発展を国民全体で支えていくためには、どのような取組が重要か。

【提案募集(資源エネルギー庁HP)】

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/nuclear/rw/shobun-teian.html](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/rw/shobun-teian.html)

### 5. その他

「懸垂幕」により、地層処分の理解を推進するための標語を掲載します。

- ・掲載期間:平成27年10月1日～25日
- ・掲載場所:経済産業省別館
- ・掲載標語:「いま改めて考えよう地層処分 経済産業省」

いま改めて考えよう地層処分  
経済産業省

(本発表資料のお問い合わせ先)

資源エネルギー庁 放射性廃棄物対策課長 小林

担当者: 渡辺、藤岡

電話:03-3501-1511(内線 4781～4783)

03-3501-1992(直通)

# いま改めて考えよう地層処分

高レベル放射性廃棄物の問題を将来に先送りしないよう  
一緒に考えましょう

原子力発電に伴って生じる「高レベル放射性廃棄物」は、安定した地下深くに処分することが必要ですが、いまだその処分地が決まっています。既に発生している以上、将来世代に先送ることなく解決しなければならない問題です。

この問題の解決に向け、「国が前面に立つ」との新たな方針の下、科学的に適性の高い地域(科学的有望地)を提示することとし、現在、専門家による検討が進められています。

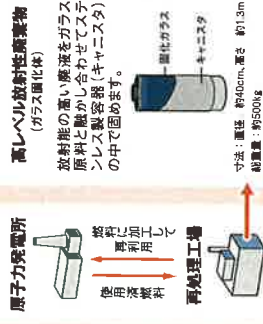
科学的有望地の提示は、これを契機に、地層処分について国民や地域の方々に理解を深めていただくことを目的とするものです。提示後直ちに調査の受入れをお願いするようなことはありません。

こうした点を含めて、地層処分についてご理解を深めていただくため、今秋以降も、全国的に様々な情報提供や意見交換等を行っていく予定です。皆さまのご参加をお願いします。

## 高レベル放射性廃棄物とは

原子力発電の運転に伴い、使用済燃料が発生します。わが国では、この使用済燃料を再処理し、取り出したウランやプルトニウムを再利用しつつ、廃棄物の量を抑える「核燃料サイクル」を推進する方針です。

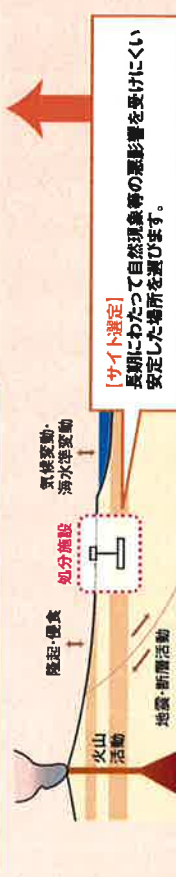
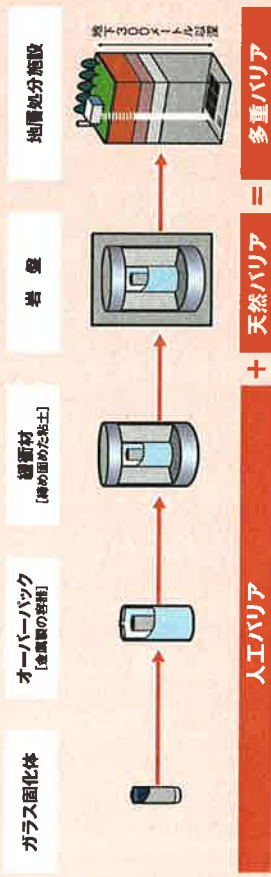
その再処理の際に生じる放射能の高い廃液を、固体化したものが高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)です。わが国には、既に、相当量が発生しています。



## 地層処分の仕組み

高レベル放射性廃棄物を安全に最終処分するために、国際機関や世界各国で様々な処分方法が検討されてきました。その中で、深い地層が本来もつ「物質を閉じ込める」という性質を利用し、人間の生活環境から安全に隔離する「地層処分」が、国際的に共通した考えとなってきました。

わが国でも、ガラス固化体を厚い金属製の容器にしっかりと格納した上で、地下深い安定した地層の中に埋設することとしています。



- 諸外国でも地層処分が採用されています
- スウェーデン (スウェーデン)
  - フィンランド (フィンランド)
  - カナダ (カナダ)
  - 米国 (米国)
  - 英国 (英国)
  - フランス (フランス)
  - スイス (スイス)
  - など

法律に基づき、地層処分の事業実施主体として原子力発電環境整備機構(NUMO)が設立され、2002年から処分地選定の調査受入れ自治体を公募してきました。しかしながら、今に至るまで応募が得られず、調査に着手できていません。

## 政策の見直しを行い、平成27年5月に新たな方針を決定しました

## 国民や地域の理解を得られるよう、国が前面に立って取り組みます

地層処分を進めて行くためには、その必要性や安全性について、広く国民の理解を得ていくことが重要です。このため、国が前面に立って、様々な取組を全国的に進めていきます。

**1 処分地選定に向けた第一歩として、科学的な観点から適性の高い地域を「科学的有望地」として示していく予定です。**

火山国・地震国といわれる日本でも、地層処分に適した場所は広く存在することが、長年の継続的な研究の成果として示されています。他方で、日本のどこでも安全な地層処分が成り立つわけでもありません。このたび、国は、処分地選定に向けた第一歩として、科学的な観点から適性の高い地域(科学的有望地)を提示することにしました。現在、そのための要件や基準の検討が、専門家の参加する審議会において進められています。

なお、科学的有望地は、あくまで「選定調査の対象」としての適性を示すものであって、その性質上、特定の地域をピンポイントで示すようなものにはなりません。

**2 科学的有望地は、国民的な議論を始める契機として提示するものです。一歩ずつ、国民・地域の方々への理解活動に取り組みます。**

科学的有望地の提示は、地層処分に対する各地域の適性を客観的に示しつつ、最終処分問題を国民全体が認識・理解いただくためのきっかけとするものです。

国とNUMOは、科学的有望地の提示後、まずは全国各地の方々に関心を持っていただき、理解を深めていただくことを目指して、理解活動を一歩ずつ進めていきます。

**3 理解活動を通じて地域で理解を深めていただくことが何より重要です。そうした取組なくして、直ちに調査の受入れをお願いすることはありません。**

説明や対話を重ねていく中で、関心を持って頂ける地域があれば、継続的に学んでいただける機会を提供・支援してまいります。こうした取組を通じ、地層処分に関する理解を深めていただいた上で、その進捗等を踏まえて、将来的には調査への協力について国から自治体に対してお願いすること(申し入れ)を目指しています。



こうしたことを含めて、この問題について一人でも多くの方々へ理解を深めていただくことを目指して、今秋以降も、全国的に情報提供や意見交換等に取り組みしていきます。詳細については、裏表紙をご覧ください。

## 全国9都市で説明会を開催します

本年5～6月にかけて開催した全国シンポジウムに続き、第2弾として、地層処分の適性の考え方や、科学的有望地の提示など処分地の段階的な選定の進め方に関する全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分～処分地の適性と段階的な選定の進め方～」を開催します。是非ご参加をお願いします。

開催地	開催日	時間	開催場所
東京	10月4日(日)	13:00~15:00	ザ・グランドホール(品川)
金沢	10月8日(木)	18:30~20:30	金沢都ホテル
札幌	10月9日(金)	13:00~15:00	ロイトン札幌
新潟	10月10日(土)	13:00~15:00	朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
高松	10月15日(木)	18:30~20:30	かがわ国際会議場
大阪	10月16日(金)	13:00~15:00	梅田スカイビル
名古屋	10月24日(土)	13:00~15:00	名古屋商工会議所
熊本	10月28日(水)	18:30~20:30	ホテル日航熊本
岡山	10月29日(木)	13:00~15:00	岡山国際交流センター

参加無料

応募方法は  
こちらから

<http://www.chisou-sympo.jp/>



地層処分シンポ

検索



## 「地層処分」知りたい・学びたいを応援します



### 【少人数ワークショップ(資源エネルギー庁)】

・NPO法人等(地域協力団体)と連携し、地層処分に関する様々なテーマについてグループワークなどを行う、少人数規模での一日ワークショップを行います。



### 【学習の機会提供事業(NUMO)】

・専門家や研究者を招へいし、勉強会や講演会の開催を支援します。  
・地層処分事業に関連する施設等の見学や、原子力事業による地域振興例の視察を支援します。



### 【意見交換希望団体等の募集(NUMO)】

・希望する団体や学校等に対し、NUMOの職員等が訪問し、最終処分に関する情報提供や意見交換、出前授業等を行います。

これらの取組は、「地層処分ポータルサイト」において申込方法等を掲載しております。最新の情報等も随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

もっと詳しく

<http://chisoushobun.jp/>



地層処分ポータル

検索







# 全国シンポジウム 「いま改めて考えよう地層処分」

～ 処分地の適性と段階的な選定の進め方～

日本には、これまでの原子力利用の結果、  
放射能レベルの高い廃棄物がすでに相当量存在しています。  
その処分は、将来世代に先送りせず、私たちの世代で解決していくべき課題です。

資源エネルギー庁と処分事業を担うNUMOは、全国9都市でシンポジウムを開催します。  
処分地の適性の考え方や、処分地の段階的な選定の進め方についてご説明し、  
ご意見を頂くことを通じて、この課題を全国の皆さまと一緒に考えていきたいと思います。

参加無料

全国9都市で開催 ※会場によって開始時間が異なりますので、ご注意ください。

東京	10月4日(日)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	ザ・グランドホール(品川) (港区港南2丁目16-4)	定員(先着) 300名	申込 締切	9/25(金)
金沢	10月8日(木)	開場・受付18:00 開会18:30 閉会20:30(予定)	金沢都ホテル (金沢市此花町6-10)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/1(土)
札幌	10月9日(金)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	ロイトン札幌 (札幌市中央区北1条西11丁目)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/1(土)
新潟	10月10日(土)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター (新潟市中央区万代島6-1)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/1(土)
高松	10月15日(木)	開場・受付18:00 開会18:30 閉会20:30(予定)	かがわ国際会議場 (高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6階)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/7(水)
大阪	10月16日(金)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	梅田スカイビル (大阪市北区大淀中1-1 梅田スカイビル タワーウエスト ステラホール)	定員(先着) 300名	申込 締切	10/7(水)
名古屋	10月24日(土)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	名古屋商工会議所 (名古屋市中区栄2-10-19)	定員(先着) 300名	申込 締切	10/16(金)
熊本	10月28日(水)	開場・受付18:00 開会18:30 閉会20:30(予定)	ホテル日航熊本 (熊本市中央区上通町2-1)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/21(水)
岡山	10月29日(木)	開場・受付12:30 開会13:00 閉会15:00(予定)	岡山国際交流センター (岡山市北区奉還町2-2-1)	定員(先着) 200名	申込 締切	10/21(水)

パネルディスカッションと質疑応答を行います。

- パネルディスカッション 資源エネルギー庁・NUMOなどによる、処分地の適性などをテーマとしたディスカッション
- 質疑応答 資源エネルギー庁・NUMOなどによる、会場の皆さまとの質疑応答

● 詳しい内容や参加申し込みなどは、下記ホームページをご覧ください。  
また、FAXでお申し込みの場合は、裏面をご利用ください。

ホームページ <http://www.chisou-sympo.jp>

地層処分シンポ

検索



経済産業省  
資源エネルギー庁

NUMO  
原子力発電環境整備機構

東京都港区芝4-1-23 三田NNビル2階 電話03-6371-4003

主催：経済産業省・資源エネルギー庁、原子力発電環境整備機構(NUMO)  
後援：電気事業連合会 ほか

※定員に達しない場合は事前申し込みなしでも参加可能ですので、ホームページをご確認いただくか、事務局へお問い合わせください。  
※当日受付にて参加証をご提示のうえ、ご入場いただきます。  
※応募者の個人情報は、今回のシンポジウム運営やメールマガジンの登録(希望者)のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

# 全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」

## 参加お申し込み

参加をご希望の会場ごとに、必要事項を記入の上、  
各受付事務局へFAXしてください。  
折り返し、参加証を送付いたします。

参加希望会場 ( )

郵便番号 □□□-□□□□

※参加証の送付先が法人などの場合は、会社(団体)、部署なども、お書きください。

住 所 (参加証送付先)

氏 名 (フリガナ)

電話番号

( ) -

メールアドレス(任意) ※メールアドレスをご記入の場合は、「参加証」メールをお送りします。当日、プリントアウトしてお持ちください。

@

原子力発電環境整備機構(NUMO)からのメールマガジンの送付(任意)  
不要の方は  ボックスにチェックしてください。

希望しない

### 受付事務局

※ご希望の会場の  ボックスにチェックしてください。

※会場ごとに、応募締切日が異なりますのでご注意ください。定員になり次第締め切ります。

- |                          |     |                   |               |   |
|--------------------------|-----|-------------------|---------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 東 京 | FAX: 03-5408-5405 | 申込締切 9/25(金)  | 東京シンポジウム 受付事務局 TEL: 03-5408-1014 (平日10:00~17:00)  |
| <input type="checkbox"/> | 金 沢 | FAX: 076-224-1023 | 申込締切 10/1(土)  | 金沢シンポジウム 受付事務局 TEL: 076-224-1019 (平日10:00~17:00)  |
| <input type="checkbox"/> | 札 幌 | FAX: 011-251-6561 | 申込締切 10/1(土)  | 札幌シンポジウム 受付事務局 TEL: 011-252-6930 (平日9:30~18:00)   |
| <input type="checkbox"/> | 新 潟 | FAX: 025-243-7041 | 申込締切 10/1(土)  | 新潟シンポジウム 受付事務局 TEL: 025-243-7042 (平日9:00~17:00)   |
| <input type="checkbox"/> | 高 松 | FAX: 087-832-2512 | 申込締切 10/7(水)  | 高松シンポジウム 受付事務局 TEL: 087-832-2511 (平日10:00~17:00)  |
| <input type="checkbox"/> | 大 阪 | FAX: 06-7635-8556 | 申込締切 10/7(水)  | 大阪シンポジウム 受付事務局 TEL: 06-7174-8975 (平日10:00~17:00)  |
| <input type="checkbox"/> | 名古屋 | FAX: 052-354-5119 | 申込締切 10/16(金) | 名古屋シンポジウム 受付事務局 TEL: 052-354-5559 (平日10:00~17:00) |
| <input type="checkbox"/> | 熊 本 | FAX: 096-367-3439 | 申込締切 10/21(水) | 熊本シンポジウム 受付事務局 TEL: 096-369-8494 (平日9:00~17:00)   |
| <input type="checkbox"/> | 岡 山 | FAX: 086-221-5181 | 申込締切 10/21(水) | 岡山シンポジウム 受付事務局 TEL: 086-803-8238 (平日9:30~17:30)   |

※本事業に関するお問い合わせ 原子力発電環境整備機構 地域交流部 総括グループ TEL:03-6371-4003

FAX  
(24時間受付)